

エジプト 今年の柑橘類は採算が合わない

[FreshPlaza 2024年3月28日](#)

エジプトの柑橘類輸出業者らは、紅海危機によってアジアの重要な市場から切り離され、さらに他の市場での供給量が増加し、その結果として価格の下落につながったため、困難なシーズンになっていると異口同音に不満を漏らした。ジェリラ社のエスラム・ジェリラCEOによると、紅海危機により2023-24年度の出荷シーズンは不採算となった。(以下「」は同CEOの発言)

「アジア、特に極東における弊社の事業は、紅海の状況によって大きな打撃を受けており、これはエジプトのすべての輸出業者に当てはまる。それでも少量をなんとか出荷しているが、毎回リスクを負っている。」

「極東への輸送コストの大幅な増加に加えて、輸送時間が22日から45日に増加したため、現地の輸入業者らは、果実の鮮度と棚持ちについて懸念を抱いている。強力なブランドを持ち、その品質によって市場で知られている輸出業者は、他の業者よりはうまくやっているが、誰もが同じ運命にある。」

業界筋によると、中国の海運会社数社が安全かつスムーズに紅海を航行している。しかし、同CEOは、これらの会社のサービスを利用するリスクは高すぎると言う。「個人的にはそのような例を直接知らないが、いずれにせよ、弊社は良く知られた評判の良い国際企業と仕事をしている。貨物全体を失うリスクを冒すわけにはいかない。」

この状況に対処するために、エジプトの輸出業者らは、従来からの市場であるヨーロッパ、ロシア、中東や、新興市場であるブラジル、カナダなど、他の市場に目を向けている。同CEOは同社が今シーズン、ブラジルへの輸出を50%増やしたと述べた。

「東アフリカと西アフリカへの輸出も増やしているが、これらの国では購買力が低いため、満足のいく価格が得られず苦戦している。」

「今シーズン、エジプトの柑橘類生産量が大幅に増加したことに留意すべきである。アジア市場を失ったことと関連して、主要市場であるヨーロッパ、ロシア、中東への供給量が増加し、低価格につながっている。」

「価格は昨シーズンの同時期と同じ水準であるが、シーズン終盤の価格は下がると予想している。」他の情報筋によると、米ドル建ての価格は昨年と同じ水準にあるものの、自国通貨(エジプトポンド)建てでは低くなっており(原文のまま)、生産者と輸出業者は同様に利益率が大幅に低下している。

ジェリラ氏は、「結局のところ、今シーズンの柑橘類は採算が取れない。我々は、雇用とキャッシュフローを維持し、特に最大の輸出国であるエジプトの地位を市場で維持するためだけに輸出を続けている」と嘆く。「今年のこの難しい出荷シーズンは、出荷量が昨シーズンより多いために長引き、終了が通常よりも遅くなりそうである。」

エジプトの輸出業者らは、以前は紅海の危機の早期終結を願っていたが、今はより冷静な見通しを持っている。「ラマダンが終わる頃(4月8日ないしは9日頃)にはスペインの出荷が終了するはずなので、市場の前向きな動きを期待している。夏にはオレンジ果汁の出荷と消費が刺激されることを期待している」。

執筆者: ユーネス・ベンサイド